

ボウリング界に新風を巻き起こす《ラウンジボウル》 複合アミューズメント施設「AMUSE & VILLA RESORTS Kα」に誕生！

2006年11月17日、山梨県甲府市にまったく新しいボウリング場が出現した。複数のレストランエリアと大規模なアーケードゲームエリアを兼ね備えた複合型の総合アミューズメント施設、「AMUSE & VILLA RESORTS Kα」(アミューズ&ヴィラ・リゾート カ)の一面を占める《ラウンジボウル》だ。オートレーンシステムには、ジェトロニクスの“[with AL](#)(ウィズ・エーエル)”が採用されている。(右画像:《ラウンジボウル》ロゴマーク)

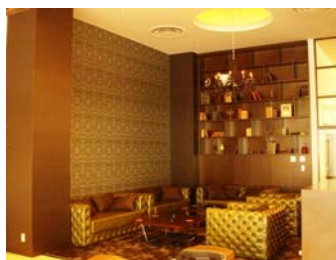


JR 甲府駅から車で15分、落ち着いた砂色の外壁に覆われた2階建ての建物が、広大な駐車場に囲まれている。過剰な装飾のまったくないシックな外観からは、ボウリング場はおろかアミューズメント施設であることすら想像することは難しい。新規出店を彩る祝花で飾られたアプローチからエントランスに一步足を踏み入れると、心地よく響き渡る水音と、明るい光に包まれた。そこは、亜熱帯植物に出迎えられる「非日常空間」。飛行機に乗ることもなく到着する南国リゾート。まるでホテルのフロントレセプションのようなチェックインカウンターで、リストバンド型の「パスポート」を受け取ったら、あとは思い思いに「数時間のバカンス」を楽しめばよい…。

フロントの向かいにあるゲートのような扉を抜けると、ラスベガスを思わせるきらびやかな雰囲気のある1階ゲームエリア。そこからエスカレータを上ると、一転、ゆったりとした寛ぎの空間《ラウンジボウル》がある。レーン後方には、その名の通りラウンジとバーカウンターが完備。ウェイトイングのお客様はビリヤードやダーツに興じながら、ドリンク・軽食も楽しめる。もちろんボウリングのゲーム中にも食事が可能。ボウラーズエリアには、座り心地の良さそうな落ち着いた色調の布張りソファとテーブルが並んでいる。オーバーヘッドモニターが目に入らなければ、ホテルのロビーのようにも見えるだろう。そして、洋館の一室と見まがうばかりの豪華な内装と調度品に囲まれたVIPルームでは、“個室ボウリング”という贅沢でスタイリッシュな新しい楽しみ方を提案している。大人のためのスマートな“遊び場”と言える。



ボウラーズエリア



VIP ルーム



with AL モバイル端末とボール

Kα はオープン早々、テレビの取材もいくつか受けているとのこと。直近では TBS「世界バリバリ☆バリユー」が 11 月 29 日(水)22:00からオンエア予定なので、ぜひご覧いただきたい。



AMUSE & VILLA RESORTS **Kα** (アミューズ&ヴィラ・リゾーツ カー)

所在地 〒400-0047 山梨県甲府市徳行 2-8-14

アクセス お車:中央自動車道「甲府昭和 I.C.」より約 5 分 電車:JR 線「甲府駅」よりタクシーで約 15 分

施設案内 ボウリング場《ラウンジボウル》(20 レーン)、個室レストラン《ソファ》、ゲームエリア《メガボックス》、
バフェレストラン《バフェ・バフェ・バフェ》

お問い合わせ Phone: 055-228-7777 / E-Mail: info@ka-complex.co.jp / URL: www.ka-complex.co.jp

Kα および《ラウンジボウル》のキーマンである、橘大地氏(大東産業株式会社 代表取締役副社長)、大友磨氏(店舗管理責任者兼ラウンジボウルマネージャー)、佐藤成一氏(佐藤成一建築設計事務所代表取締役 一級建築士)から伺ったコメント、およびジェトロニクス関係者からのメッセージを、以下にご紹介する。

橘 大地氏 大東産業株式会社 代表取締役副社長

この斬新な新規店舗の構想段階から陣頭指揮を執り、オープンに至るまで強力なリーダーシップを発揮

この「AMUSE & VILLA RESORTS Kα」は、構想からオープンまで 2 年の歳月をかけましたが、現場のスタッフにも恵まれ、ハード、ソフト共に理想以上の店舗に仕上げることが出来たと自負しております。複合型施設として、ボウリングの集客能力を活かした相乗効果、つまりレストランエリアやアーケードゲームエリア等の他施設への衝動利用を促せると考えています。この施設のテーマは、「ライフスタイルの提案」。お客様に、ボウリングというボールをピンに当てる「遊び」だけでなく、この「環境」自体を五感全部で楽しんでいただきたいのです。

ボウリングエリア《ラウンジボウル》でジェトロニクスの [with AL](#) を採用した一番の評価ポイントは、固定モニターや、電源コードなどの配線がないことにより、自由にレイアウトできる点です。おかげでボウラーズエリアでは自由な空間創造が出来ました。モバイル端末のマスキングに、施設の内装にマッチしたカラーを選択できるようになれば、さらに空間創造の幅が広がるでしょう。

ボウリング業界は、装置産業として今までぬるま湯に浸かってきましたが、今後、変革の時を迎えると感じています。ボウリングはスポーツであり、遊びでもあります。固定概念に囚われることなく、お客様が求めるものを提案することが重要だと思います。弊社でも、今後はボウリングに限らず、「ライフスタイルの提案」を続けます。既存の概念に囚われない自由な発想で、常にベンチャー企業として新しい遊びの環境を創造していきたいと考えています。

大友 磨氏 店舗管理責任者 兼 ラウンジボウルマネージャー

構想段階から参画し、ボウリングエリアだけでなく、施設全体の総合的な企画から運営方針に至るまで携わった推進役

ボウリング場の新しいスタイルを模索した結果が、この《ラウンジボウル》です。「お客様にとっていかに快適なリラックス空間を作るか」を基準として、すべてを決めてきました。そのためには、あえて運営する側の負担が増えることを承知の上で選択したこともあります。例えばボウラーズベンチの布張りソファ。オリジナルで制作したものです。掃除やメンテナンスのことを考えれば、布張りなんて従来ありえないものでしたが、座り心地の良さとビジュアルの美しさから採用することにしました。シューズも生地から選んだオリジナル製品です。ボールやレーン(System300、Finland 製)も、色にこだわった特注品。視覚でも触感でも、新しい感動体験を味わっていただける自信があります。

着工は今春、引渡しは11月10日でした。正式オープンの17日までわずか1週間と準備期間が少なかったとはいえ、お客様あつての商売ですから、不手際がないように細心の注意を払いました。私はボウリングエリアだけでなく、店舗管理責任者として全体の総合マネジメントも担っていますので、これからの年末年始、たくさんのお客様に来ていただけることが大変楽しみである一方、怖くもあります。

17日の正式オープンを前に、15日に約300名のゲストをお招きしてレセプションを開催しました。おかげでご好評をいただき、多くの方々から驚きの反応も寄せられましたので、ボウリング場のイメージを一新するという当初の目的は、どうやら達成できたのではないかと考えております。

佐藤 成一氏 (有)佐藤成一建築設計事務所 代表取締役 一級建築士

今までにないトータルにデザインされたアミューズメント空間を創造したデザイナー

まず、従来のボウリング場のステレオタイプなイメージの革新を出発点としました。オーナーである橋副社長の理想とするビジョンが、お客様に新しい「ライフスタイルの提案」をする場として、日常と非日常の間に存在する「リゾート」を創りたい、というものだったので、建築設計と内外装デザインの基本コンセプトを“ラグジュアリーな南国のリゾート感”としました。カラーリングの基調にサンドベージュ、つまり乾いた土色を使い、サインボードでは青い空、要所に配置した噴水で透き通った水色を表現し、視覚的な演出をしています。あまりアジアっぽさを強調しない、オリエンタルな雰囲気を目指しました。ポイントに使った墨色や外壁のルーバーのデザインなどで、和のテイストも味付けしています。

コンセプトワークから参加してきたので、オープンを迎え感慨もひとしおです。Ka(カー)とは、古代ギリシア語で「魂」という意ですが、単語自体が持つ意味よりも、この場所を指す固有名詞として皆さんに認識してもらえるようになったらいいなと思っています。

ジェットロニクス関係者からのメッセージ

ジェットロニクス・ソリューション東京株式会社 甲府サービスステーション 池田典雄

大東産業株式会社様には、昨年、[with AL](#) を発表した直後から、非常に高い関心を持っていただきました。ボウリング場の新しい形を創造するうえで、お役に立てたことをとても嬉しく思います。これからも進化し続けるボウリング場を支えるシステムをご提供してまいります。

ジェットロニクス株式会社 原健悦

このたびはオープンおめでとございます。Kα は、トータルにコーディネートされたすばらしい複合施設ですが、なかでもスタイリッシュなボウリングエリア《ラウンジボウル》は白眉。“[with AL](#)”の特長であるコンパクトさとモビリティが最大限に活かされています。新築・改装をご検討中のオーナーの皆様は、ボウリング事業の新しい可能性を示す答えのひとつとして、ぜひ一度ご視察されることをお勧めします。

今回の案件は、ジェットロニクス・ソリューション東京(株)から始まったローカル発信のビジネスで、同社社長の斉藤正樹、甲府サービスステーションの池田典雄を中心とするチームワークで担当させていただきました。今後もジェットロニクス・ソリューション各社とジェットロニクスは一丸となって、ボウリング・ソリューションを全国で提供してまいります。

[with AL](#) (ウィズ・エーエル)について

with AL は、日立製作所の有するハード/ソフトからシステムまでの先端 IT 技術に、ジェットロニクスが従来培ってきた知識とノウハウを融合させ、さらにユーザーの声を反映させたボウリング・オートレーンシステムです。

従来のシステムでは、大型のテーブルに組み込んだ固定モニターでスコアの表示を行っていたのに対して、with AL では専用モバイル端末にスコアを自動集計・表示する機能を備えているのが最大の特徴です。これによって、これまで各レーンの入口部分に設置していた大型テーブルが不要になり、ボウリング場内のスペースを新たなコンセプトでデザインすることが可能になりました。レーンごとに独立空間を演出するフレキシブルなピットを設置すれば、小人数でのプレーやグループのミニパーティー等にも最適なスペースとしてボウリング場を演出できるようになります。このモバイル端末を核に、全レーンのシステムが、ワイヤレスかつ OS(基本ソフト)に左右されないオープン環境で稼動。システム全体の稼動状況がインターネットを通じて、ジェットロニクスに送信される仕組みであるため、障害時の復旧もリモート管理によってスピーディーに対応します。併せて、ワイヤレスであることから、システムの設置に要する時間も、従来のシステムと比べて大幅に短縮することができます。

《オープン》、《ワイヤレス》、《ネットワーク》、《スペース》の4つをキーワードとした with AL は、ボウリング業界をさらに飛躍させる新サービスシステムとして、続々と日本各地のボウリングセンターに実際に導入されています。

詳細：プレスリリース(2004年11月11日発表)

[「with AL、モバイルオートスコアラ―発表！ 日立製作所と共同で新アミューズメントゾーンとしてさらに活性化」](#)

お問い合わせ：ジェットロニクス株式会社 BS 事業部 ボウリング営業部

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-38 秀和芝公園三丁目ビル 電話:03-5403-1009(部門代表)